

2021年2月20日（土） 考える漢字の会@Zoom2021

質問・意見&回答

藤原エミリー先生 チャットへの質問と回答

Q: 漢字一字の宿題を出すにあたって、どのような課題提示で投げかけをされましたか？

A: 「漢字の意味、読み方、熟語、使い方を調べてきて発表してください」と投げかけました。

Q: 一人の発表時間はどれくらいでしょうか。聞いている学生は理解して積極的に参加されていたでしょうか。

A: 10分ぐらい発表し、その後みんなで文作しました。全員が理解したかどうかはわかりませんが、自分の得意分野に落とし込んだり、興味のある文を作ろうとしたりしていました。

Q: 指定する漢字によって文作しにくいなど、漢字に偏りがあったりしませんか？

A: よく使う漢字を選んでいるので、熟語の数が多く、文作しにくいということはありませんでした。

永松寛子先生 チャットへの質問と回答

Q: 指定する漢字によって文作しにくいなど、漢字に偏りがあったりしませんか？

A: 初中級クラスでは、使用頻度の高い語彙がたくさんあり、慣れ親しんだ漢字にしました。

品・引（割引・引っ越し... また、アルバイト先で万引きなどがあるという話もでした）毎・細・機・冷などを指定し、この中から選ばせました。

Q: このビジネス日本語クラスにおける漢字学習の比重はどれくらいなのでしょう？

A: ビジネス日本語の授業では、2回とも、授業の最後30分を使いました。基本的にはビジネスマナー、ビジネス会話のクラスです。

Q: アンケートの出し方で工夫していることはありますか？

A: 初中級クラスには質問にすべてルビを振りました。「おもしろかったか」という質問の意図は、興味をもってとりくめたか、という意味でしたが、「自分の作品の内容がおもしろかったか」ととらえた学生もいました。次回は、アンケートもフィードバックして、皆の意識を共有してから取り組んだらどうなるかやってみようと思います。

藤田佐和子 チャットへの質問と回答

「覚えましょう」について

Q: 「学生に自分で分かる漢字と分からない漢字を見つけさせる」とのことでしたか、どのようにさせて、自分で見つけさせるのでしょうか？

Q: 教科書の「覚えましょう」をどのように導入されていらっしゃいますか？

Q: 漢字テストでは語彙を出さないとはどういう意味でしょうか？

A: 学生は「覚えましょう」を使って、自分の知らないことを自分で見つけます。私のクラスでは「覚えましょう」を授業中は扱いません。(したがって、「導入」もありません)

「覚えましょう」は、各自に自分で使い方を考えて、自宅で使ってもらっています。

家でひとりで使うので、負担が大きくて難しいと思います。そのため、「覚えましょう」からテストに出す部分は例文の語彙の読みだけにしています。「覚えましょう」の語彙はとて多いので、テストに出すことにすると学習が楽しめなくなると思うからです。

「覚えましょう」の使い方にきまりはありません。語彙部分でかるたを作って、クラスで楽しく使われた方もいらっしゃいます。学習者に応じて、臨機応変に使っていただければと思います。

「漢字 1 字で教材を作る」について

Q: 教材を作らせるときに、指定した内容（語彙や例文を必ず含めるなど）はありますか？

A: ありません。

Q: 指定する漢字によって文作しにくいなど、漢字に偏りがあったりしませんか？

A: あります。教材のおもしろさは漢字によるところが大きいと思います。

先学期までは自分の担当漢字が使いにくいと思ったら他の漢字に変更することを認めていました。今学期は学生に自分で漢字を選ばせました。すべての漢字で作る必要はないと思うのですが、いかがでしょうか。

Q: 生徒さんそれぞれの内容を、さらにグループでストーリーにすると面白いかもしれませんね！

A: ぜひ、やってみてください。どんな形になるのか、どんなことが起こるのか想像もつきませんが、より一層の協働ができそうな気がします。面白いことができたら、ぜひ教えてくださいね。

自分でルールを作る「考える」問題について

Q: すみませんが、、、今やっていることは、学習者がこういうアクティビティーをしているのでしょうか。

Q: こういうことを学生と授業で考えるのですか？

Q: このディスカッションを留学生はどのようにやっているのでしょうか。レベルの高い活動ですね。

A: 「悪評」と「不評」の使い分けを考えるディスカッションは、クラスでします（4課 86 ページ）。

例文から使い分けのルールを考えて、自分の言葉で話すのは、とても良い日本語の勉強になります。

クラスには自分で調べられるように辞書などを持ってくるように指示しているので、辞書を棒読みする学生もいますが、その場合は辞書に書かれていることをテキストの例文にあてはめて説明してもらいます。

人の話を聴いて理解することも、いくつかの意見から、より良いルールを導き出して話すのも、とても刺激的なアクティブラーニングで、教師に教えてもらって受け身で覚えるよりも、ずっと深くて、楽しい勉強をすることができます。

今回扱った「映画は悪評だ」が非文かどうかは、学生から提起された問題です。今回ご参加のみなさまには、「悪評」「不評」の使い分けではたいして「考える」ことにはならないでしょうから、敢えてこの問題を扱いました。これはみなさまのために用意した問題で、クラスでいつもするわけではありませんが、何度かしたことはあります。

今学期の学生が理路整然としたルールを導き出してくれたので、それで私はこの会でこの問題を使ってみてもいいと思いました。パワーポイントでは学生のレポートの一部もご紹介しています。

悪評・不評について

・「悪評の映画」 <https://ameblo.jp/aichindayon/entry-12576392755.html>

「不評の映画」 <https://watchmovies.web.fc2.com/>

どちらも用例はありますね。

- ・こちらのグループは、「悪評」のあと、助詞がほしいって話が出ました。
- ・映画は悪評だ は、？ですが、映画は好評だ は 使えますよねと話が出ました
- ・この前、雑誌に「銀座」なドレスとかありましたよ・・・
- ・複合名詞の観点からは何か導き出せないでしょうか。
- ・大人のガリガリ君は大人のための、大人なガリガリ君はガリガリ君が大人っぽいと言いたいように

感じます。

- ・新聞は、字数の関係から「新作映画は悪評」など見出しで使うかと思います。その影響では？
- ・広告は、ひかりを提供するのがワザの一つです。
- ・言語はいつも変わっていくものであり、何が正しいか何が正しくないというかたいことも変わる可

能性もあるのですね。

- ・言葉は変化していくもの、人それぞれ感覚も違うので、正しさ、だけを伝える授業は、学習者には、

つらいですね。

- ・言葉は変化を続けますね、今の私たちの語感もすぐ古くなるのでしょうか。色んなメディアに触れて、

常にバージョンアップを心がけていきたいです。

- ・わたしも海外生活が長くなって、ちょっと自分の日本語が心配になることがあります。「わかりみ」

のように、～み、がつく語彙に驚きました。

- ・何が正しい、正しくないは、新聞や広告をモデルにするのはどうかなあと思います
- ・でも正しいか正しくないか一応線引きが必要
- ・若者ことばで、変わるかもですね。

→これはみなさまの「考える」問題なので、ひとつひとつにコメントは差し控えます。

私自身は、自分がこれまで考えてきたことが、今回のみなさまのグーグルフォームの結果からも裏付けられたように思っております。そういう意味ではスッキリしました。

でも、「悪評」の現状は正しい、正しくないの二択では片付けられない部分があります。使われていて、それが広く許容されているという事実があります。「悪評な」はまだ市民権を得るには至っていませんが、「悪評だ」は新聞にまで出てくるようでは、使われていると認めざるを得ません。ここはスッキリしませんが、事実がそうだということです。

そんなところでしょうか。みなさまはどうお考えになりますか。私は、こういうところが数学とは違う国語の面白さなのかもしれないと思ったりもします。

その他

Q: 今回の講座のパワーポイント資料をいただくことは可能でしょうか。

A: 申し訳ありませんが、今回、配布は考えておりません。

Q: コロケーションをどのように導入されていますか？

A: いくつかは「考えましょう」で扱っています。4 課の「息」のコロケーション、11 課の「鈍る」と「弱る」など。